



消防から告訴された

名譽毀損圓滿解決

市長、署長、小田氏の仲裁で

野崎縣議の釋明で

平消防組頭井上茂作氏外幹部三名から同消防組の名譽を毀損するものとして告訴された平市會議長野崎縣議が過ぐる通常總會に於てなしたる舌禍は本年二月以來半年餘に亘る係争中であつたが市有志間の紛争は自治上にも面白くない結果を見る様ではと青沼平市長、本田署長、小田吉治氏の仲裁で野崎氏から會議の會動は憲法的のものでないとの釋明があつたので原告側も之れを諒し昨二十一日右告訴を取下げ圓滿に解決した

片倉特約の秋蘭は今月末

少量の夏蘭出廻る

漁港の修築

不進捗

海浪荒き爲め
目下工事施行中の石城郡勿來町九面漁港の修築は機軸架設中で植田町小瀬は防砂堤と防

穀物倉庫の實狀

調査事務打合せ會

販賣機構改革の資料

縣主催の穀物倉庫實狀調査第一郡下産業組合、農業倉庫をも務打合せ會は二十二日午前九時から平市の郡團休事務所樓上に於て縣から近藤、齊藤主事補、農林省仙台米穀事務所から増田技手出眼、石城

平市壯年團を創設

大嶺會長外幹部の顔振

青年團の姉妹團として全國各地に創設を見つゝある壯年團は今年平市にも設立されて昨二十一日夜市内船屋町湯本無蓋樓上に於て發團式を挙げ役員を左記に決したが同團は昭和九年十月貴族院議員田澤義輔氏、丸山鶴吉氏等が創設されたもので團員は主として青年團を卒へたるものを以て組織するものと云ふに

戦地一戦庭に立ちし以上の便 身命は皇國の爲に

平市下平窪出身 吉田 信也

拜啓、時下盛夏の候各位益々御健勝の御事と拝察申候小生出征以來至極健康にて連日軍務に服し居り候間他事を以て御放棄下され候候貴軍事後援會が常に健闘の爲に御盡力下され候事は全く感謝に堪へざるに御座候、尙ほ小生留守宅については一方ならぬ御援助に預り居り候にも拘はらず今回は小生へまで深山の慰問品を御惠賜下され候深謝候、身一と度敵の庭に立ちし以上身命を賭して皇國

満を持して待居候

平市五丁目出身 中村 睦郎

銭湯賃も値下

平市内の湯屋業者は過般地方物價暴落燃料専門部の協賛により石炭の値下げをなすことになつたに順ひ現在の大人五銭を近く四銭に値下げされる様である

金六十錢

市外は一割の値下

稻熱病驅除に 縣の助成

養劑現品無償交付
石城郡農會では稻熱病の發生に對し驅除予防の指導補助に大奮とたつてゐるが罹病面積三百四十七町四反歩を算し今後育される稻熱病を氣遣はれる爲め縣でもこれが驅除預防に大馬力を注ぎ驅除面積三分の一の所用養劑現品を補助する助成策を講ずることになり、決し後の三分の二は各町村農會に交付するものと云ふに

軍後へ廿五圓

平市登壇町龜岡真雄氏は今二十一日金二十五圓を市の軍事後援會に寄附した

毛布献納三枚

平市宇田町花亭事野澤サエ氏は毛布三枚、同長根町三吉村藤藏氏は毛布一枚何れも戦線勇士の防寒具に献納方を今二十一日市役所に寄附した

皇軍慰問袋一個

平市二丁目伊國泉服店令嬢伊藤サチ、郷土精神、即ち郷土意識を破壊するに至る、杞憂と欠陥を招來することだ。然れば一部の市史こそそのもの爲の生命であり、片影でもあり、又以て市民の唯一なる生活源泉でなくてはならない。さて其の編述方法と諸都市の既築の比較は、今此に省くが、苟くも若し平市の築修に着手するにせば、次節

歸省漫筆 勿來庵

目黒より 諸根 生
市史とは實に市制過程の歴史であり、換言すると吾人郷土の産業進化史であり、又一には郷土の精神文明史である故に之を無視しては郷土百年の政策も創造も期するのみな

海浴

縣の健康組合主催で昨二十一日平市片倉製糸工場及び丸尾工場その他の従業員四百餘名の海水浴を四倉海岸に於て催されたが午前九時集合午後五時まで時局下に處する健康増進に海氣を満喫して解散す

永戸村永井女青 廢品で國防献金

石城郡永戸村の永井女子青年團では舊盆休みを利用して部落各戸から廢物を集め賣却し得たる金四圓十六錢を國防費に献金す

土木の帳簿調査

縣土木課の鈴木課長主任書記は去る二十日石城に來郡夏井川改修事務所及び平土木監督所の帳簿調査中

平第一校荒し

余罪取調中
平市四軒町五宮城縣伊具郡那村野の平生引地鶴雄氏は平第一小學校教室を數回に渉つて荒した外數ヶ所に盗みを入つてゐたが平市に檢舉され

猪狩清三郎氏

石城郡販賣利用組合監事双葉郡大久村猪狩清三郎氏は病氣療養中であつたが藥石効なく長逝今二十一日午後一時送葬に決し二十二日發處分の手続きを取つた

日曹小田坑の後 山婦トロで即死

石城郡那珂村の日曹小田坑後山夫菊地は(○)は昨二十一日午前七時頃坑内に於て作業中炭車に倒かれて即死した

上遠野に傳貧

石城郡上遠野村の上根岸根本農永山落代松所有牝馬江の花雜種三才が傳貧疑似で曳出を禁止されたが昨二十一日三森薩馬組合技手により眞症に決し二十二日發處分の手続きを取つた

佐藤七七銀行員

昨日四倉海岸にて
平市七十七銀行支店員佐藤安代氏(○)は昨二十一日支店長外數名と四倉海岸に海水浴に出かけ大元氣で遊泳中に浸つてゐたが午後一時波浪に吞まれて行方不明となり今廿二日も死体發見されず同氏は宮城縣汽船郡那村の羽格穴出身で昨年三月本店から支店詰となつたもので家庭には夫人ゆき子さんとの間で三人の愛兒がある

産業

皮革原料を
水産物に(四)

品質は猫皮を凌ぐ
残る問題の一つは生皮の剥
皮法である。陸上動物は皮
質と角質との間に皮下脂肪
がある為め造作なく剥皮出
来るが鯨には皮下脂肪素が
なく皮と肉は強い太い繊維
で緊密に膠着してゐるので
陸上動物と同じやうに庖丁
を用ひてやつても皮と肉と
の境が判らないため皮質に
切り込んだり非常な注意と
時間を要する、これについ
ても多くの研究者が種々な
發明特許を得てゐるが今日
未だ實用的方法はない、
その二は原料の豊富な供給
である、今日鯨は不味い安
い魚となつてゐるので他の
漁業例へば鮪延縄漁業など
の際ついでにかゝつて来る
ものが多く従つて取扱ひも
亂暴で濱へ溜した時はすで
に臭を放つてゐるものが
多いやうな現状である、か
うなると腐敗或は醗酵によ
つて生じたアルカリ等のた
め皮質は著しく弱いものと
なつて仕舞つてゐるので出
来れば皮も弱質な二割以下
になつて靴のやうなものに
は不適當となる、現下獸皮
革が、輸入の統制、皮革具
の製造が極度に制限されて
わづか日常生活に用ひ
られる皮類の節約を餘儀な
くされてゐるがこれを機会
に全水産業者は萬難を排し
て水産物の製造に全力をあ
げ一方需要者に於ても國産
品即ち水産皮革を採用し國
策に副ふやうな力められたい
と思ふ。(幸り)

暑中御伺

日曹小田鑛業所
石城郡好間村

平西洋料理業組合

石城郡玉川信用組合長
駒木根忠三

石城郡内郷信用組合
山崎 庫太郎

土木建築
請合業 渡邊長作
石城郡湯本町

酒銘 小錦 醸造元

石城郡高久村 電話高久二番

平市五丁目角
マルトモ書店(電話三四番)

マルトモ運動具店(電話二四番)

目下四市平
マルトモ食堂(電話二三番)

平市五丁目角
山野邊藥局 山野邊東次郎

目下家政婦會(電話七二三)

日下すい子
平市田町一八

石城郡内郷村

佐藤三平

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 三三三屋 平市 田町
用合は

諸毒下止の天妙藥
安流丸
特約 山野邊藥局

大河内
整形科外醫院
平市搔搔小路
電話五八八番

お醤油は ヤマフル
山崎合名會社
電話 一〇七〇番

デリーサービス
材料のよまかせを願つて居
る為め其の節々のおいしい
新鮮な物を御進め出来ま
すので御希望からいつも精
好評を願つて居ります
特にマルトモの
ランチは...
御来店御上りの時御來
客御用仕出し等統べて御値
段を御示し下さつてままか
せ願へますれば季節の調
材料で美味快楽なものを調
理進上出来まますので之を
非常に御好評で御座いま
す
RESTAURANT MAPLE
堂食モトルマ
平市野
車場通
電話 二三番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、鑲牙工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町(松月堂向ヒ)
中野齒科醫院
電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本齒科醫學士 堀谷伍郎
補綴部主任 佐藤重義

根本産婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
(入院隨時)

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平市大工町
電話五九一番

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より 午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一